

2020年春新卒内定式に、アイメイト(盲導犬)寄付贈呈式を開催 入社式恒例の盲導犬体験歩行を、初めて内定式で実施 2019年10月1日(火) 会場:シード本社にて

株式会社シード（本社：東京都文京区、代表取締役社長：浦壁 昌広、東証1部：7743）は、2019年10月1日（火）に本社にて、2020年春新卒内定式を開催しました。本年度は視覚障がい者の歩行を支える公益財団法人アイメイト協会（以下、「アイメイト協会」）への『2018年度寄付贈呈式』と、例年当社の鴻巣研究所（埼玉県 鴻巣市）での入社式に実施する『アイメイト体験歩行』を、初めて内定式にて行いました。



(左) アイメイト協会代表理事 塩屋隆男氏
(右) 当社代表取締役社長 浦壁昌広



2020年春新卒内定者8名と記念撮影

■ アイメイト協会代表理事の塩屋隆男氏、当社代表取締役社長の浦壁昌広より挨拶

当日は内定者（大学院卒、大学卒予定）8名と、アイメイト協会代表理事の塩屋隆男氏、当社代表取締役社長の浦壁昌広が参列し、最初に塩屋氏より盲導犬を取り巻く環境についての説明があり、「現在日本には11もの盲導犬育成団体が存在していますが、アイメイト協会は日本初の国産盲導犬を輩出した団体です。非営利団体なのでみなさんの支援がないと活動が出来ません。なので、その分は結果を残して感謝の気持ちを表したい。」と述べました。また、「盲導犬というと、利口な犬が盲人を連れて歩いていると受け取られがちです。しかし、実際は犬が自発的に行動をするわけではありません。十分に歩行指導を受けた視覚障がい者からの指示を受け、それに従って誘導しています。人と犬の協同作業によって初めて歩行移動ができるのです。アイメイト協会では、視覚障がい者が4週間協会に泊まり込み、120キロにわたる歩行訓練を行っています。」と、普段知る事のないアイメイトと視覚障がい者の関係構築について話しました。

次に、当社代表の浦壁より「当社では、毎年入社式で新入社員にアイメイトの体験歩行を行っていますが、入社までに自分が今後どのように社会に関わっていくのかを考えるきっかけになればと思い、今回内定式での体験歩行を実施しました。」と、当社に入社する心構えを内定者に伝えました。

■内定者2名がアイメイト体験歩行に挑戦

式の後半は、内定者を代表し男女2名がアイマスクを付けて盲導犬の体験歩行に挑戦しました。体験者達は、「盲導犬が頼もしく感じた。訓練を受けている犬なので安心感があった」「目が見えないことが、どれだけ不安か感じる事ができた」と、初めての体験を、興奮覚めやらぬ様子で述べました。



内定者によるアイメイト体験歩行

当社は、視覚障がいの方の“見える”をサポートする「Pureな愛（eye）をありがとうプロジェクト」を2011年7月に立ち上げ、当社の主力商品である“シードPureシリーズ”の売上の一部をアイメイト協会や視覚障がい者の“見える”をサポートしている団体へ寄付することで、視覚障がいの方の社会的自立を支援しています。

当社は今後も国産の品質に則ったコンタクトレンズの製造販売を通じて、お客様の“見える”をサポートするとともに、これからも視覚障がい者とアイメイトとのパートナーシップから生まれる“見える”もサポートしてまいります。

【Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト 概要】

視覚障がいは目からの情報が得られない為に、歩行に不自由をきたしますが、目の役割を担って視覚障がい者の歩行、ひいては社会参加を助けるのがアイメイト(盲導犬)です。視覚障がいの方は、アイメイトとともに、あたかも目を得たかのように一人で自由に外を歩行します。「Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト」は、そんな“見える”を、2011年7月よりコンタクトレンズを通じてサポートしています。



今期よりさらなる見えるをサポートするため、アイメイト協会だけでなく、視覚障がい者の“見える”をサポートしている団体に寄付を拡げました。売上箱数に応じた寄付を行うことで、私たちがコンタクトレンズを装用して“見える”状態になると同時に、視覚障がいの方の“見える”もサポートしてまいります。

《活動実績》

- 寄付金(2011年度～2018年度) 累計 67,429,983円
- 株主優待寄付金(2014年度～2018年度) 累計 6,670,000円
- 関連会社であるタワーメガネ、シードアイサービス店舗、取引先での募金箱設置

Pureな愛をありがとうプロジェクト公式ブログ : <http://www.seed.co.jp/blog/eyemate/>

【公益財団法人アイメイト協会 概要】

代表理事：塩屋 隆男

所在地：東京都練馬区関町北5-8-7

URL：<http://www.eyemate.org/>

《事業内容》

アイメイト(盲導犬)育成、視覚障害者の歩行訓練等を通じた視覚障害者の自立支援。1957年に日本初の国産盲導犬第1号「チャンピイ」を育てた塩屋賢一氏(前理事長)が創設。東京都内(23区)にありながらも、全国の視覚障害者にアイメイト歩行を指導。指導の対象は海外からの方にも広がり、その数は延べ1,374組にのぼります(2019.07.13現在・使用者とアイメイトのペアを1組と数えています)。



アイメイト協会 ロゴマーク

【会社概要】

会社名： 株式会社シード (SEED CO., LTD.)
代表： 代表取締役社長 浦壁 昌広
本社： 〒113-8402 東京都文京区本郷 2-40-2
電話 03-3813-1111 (大代表)
ホームページ： <http://www.seed.co.jp>
設立： 1957年10月9日
資本金： 18億4,128万円 (東京証券取引所市場第一部：証券コード7743)
事業内容： ●コンタクトレンズ事業 ●コンタクトレンズケア事業 ●眼鏡事業

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞	
株式会社シード 経営企画部社長室 金澤・大津 TEL 03-3813-1650 大津携帯 TEL 080-9368-2116	シード広報事務局 担当：新保 (しんぼ) TEL：03-5411-0066 携帯：080-9874-4858 メール：pr@netamoto.co.jp